



## 〔 10月！みんなでうたおう運動会の歌！ 〕 ～ やる気・げん気・ほん気が生まれた運動会 ～

2008年（平成20年）4月に千葉県柏市字小山台の由緒ある台地に  
私たち社会福祉法人童心会 柏さかさい保育園（定員120名）は設立されました。  
それは逆井の台地に建つ真っ白なお城のような子どもたちの誇りをくすぐるお家でした。  
ここから歴史を歩み始めようとしている保育園で私には忘れられない運動会の思い出があるのです。

それは、柏さかさい保育園の4月のとある職員会議から生まれました。  
「5月にミニ運動会をやります！」という私のひと声から始まりました。  
開園して間もない保育園ですから、園児の主力は3歳、2歳、1歳児となり、  
4、5歳はわずか数名という園児の構成でした。  
その子どもたちが、わずか1ヶ月ちょっとの園生活でミニ運動会を開催し、大成功を収めたのです。  
そして私たちの大きなねらいでもあった  
「保育所から始める地域コミュニティ創り（村創り）」という目的を達成したのです。  
これらの行事を機にして「柏さかさい保育園の保護者会（ファミリー会）」が誕生したということも、  
間違いのないと思われる行事だったと、今もそのように信じています。

そして、その後に行われたも組さんのお部屋での反省会では、  
私の保育者仲間の皆さまのねぎらいに対する感謝の念が私の号泣となったのです。  
それが今後の（社福）童心会の方向性を理解してもらえたら良い！と思いました。  
そして、このような無茶ぶりの行事を通して、柏さかさい保育園 保護者会初代会長 大橋氏、  
親父の会初代会長 飯田氏との親交も、より深まっていったような気がします。  
今年の9月は異常気象の影響を受けて、“真夏日・猛暑日”の連続でした。  
ようやく9月の末になって、心地良い秋空と秋風が体に感じられるようになりました。  
このような季節の移ろいの中で、私は忘れられない運動会の思い出があるのです。



笑ったかすー番  
遊んだかすー番

だっこされたかすー番  
でかけたかすー番

やさしくされたかすー番  
チャレンジしたかすー番



E-mail [doushinkai@doushinkai.jp](mailto:doushinkai@doushinkai.jp) URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939  
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1  
理事長 中山 勲

毎年の運動会はほとんどが”テルテル坊主”の出番であり、祈りと願いの場でした。

そしてそれは子どもたちと私たちの願いと祈りの機会でもありました。

ある年の運動会の前日も、小雨まじりで柏さかい保育園が借用した土南部小学校の屋外運動場は使用不可となり、屋内体育館での開催となりました。

しかし、不思議なことに当日朝になって雨が小雨となり、時々雨が上りはじめたのです。その時から「さくら組（年長児）の保護者会、親父の会、保護者会のメンバーたちが皆さんでグラウンドの水たまりを整備しながら、まだ時折降り続ける小雨と戦い続けていたのです。

願いはただ一つ、「さくら組さんの最後の運動会の練習の成果の発表を、自分たちの手でグラウンドで発表させたい！」ということでした。

私はそれを聞いて、ただただ嗚咽（おえつ・むせび泣くこと）をくり返ししながら、次の訪問園の牛久みらい保育園に向かっていたことを思い出しました。

この感動は十数年を経た今でも、私には忘れられない思い出になっています。これと同じ事が数年後、牛久みらい保育園のさくら組さんでも行われたのです。子どもたちはみんな泥だらけになりながらも、組体操やリレー、その他の競技を自分の持つSpilit（精神）すべてをなげうって発表したことを申し添えておきます。

今年の私たち（社福）童心会の運動会のプログラムの花形

”みんなでよーいどん!!（かけっこ競走）”

各園不統一であった走る距離を本部の判断で統一しました。

1、2歳児（もも組、すみれ組） 12～15m（センター走）

3歳児（たんぽぽ組） 30m（トラック走）

4歳児（ひまわり組） 40m（トラック走）

5歳児（さくら組） 45m（トラック走）

私たちはこの運動会を通して「人の成り立ちの歩みのはじめ」をゆっくりと子育て仲間たちと一緒に泣き笑い

成長を分かちあう年に一度の機会なのです。楽しんで下さい。

私は長い間、本当に長い間の道のりを通して、私に一番強い影響力を与えてくれたのが知的障害児（当時は精神薄弱児）の子どもたちとの関わりでした。

その時に学ばされた”養育環境の大切さ”が私の人間教育の原点になっているのです。

そして、次に歩んだ保育の世界では「五感を刺激する0歳からの人間教育」に取り組み、さらに様々な体験を通して今があります。

「人間学と人間科学に基づく人間教育」は、私たちに与えられた永遠のテーマです。

そして「人間学はすべての人たちのWell-beingしあわせになろうね！しあわせになろうよ！」です。

そして「人間学はすべての人の生き様の基盤であり、人間科学（脳神経科学）の進化」は止まりません。

だから、私たち（社福）童心会の人間教育は終わりがありません。

どうか皆さま、私たちの後に続いてきて下さい!!

今日もまた一日一生を念じながら

すべての仲間たちの Well-being ” 幸せになろうね！幸せになろうよ！”と

祈り願い続けていくつもりです。どうぞいつまでもお幸せに!!

令和7年 10月 吉日  
社会福祉法人 童心会  
理事長 中山 勲